

さいたま赤十字病院 院外報

かがやき

FREE
ご自由にお持ちください

Vol.44
平成30年度
1号



Contents

- 02 副院長挨拶 患者さん、診療所、病院と医療のトライアングルを組むことで医療圏の医療レベルの向上に努めてまいります
- 03-04 部長昇任挨拶 ■ 膠原病・リウマチ内科部長 ■ 第二眼科部長 ■ 健診部長 ■ 救急部長
- 05 診療科紹介 【リハビリテーション科】さいたま赤十字病院リハビリテーション科について
- 06 職員紹介 【診療情報管理士】入院される患者さんが安心して入院生活を送り、治療に専念できるようお手伝いをしています。
- 07 地域密着レポート 【薬局紹介】さいたま赤十字病院近辺の調剤薬局をご紹介します

副院長就任のご挨拶



副院長 肝・胆・膵内科部長

甲嶋 洋平

平成 30 年 4 月より副院長職を拝命いたしました。私は当院に平成 14 年 10 月に肝胆膵疾患を中心に診療する消化器内科の部長代理として赴任しました。あつという間の 16 年でしたが、多くの患者さんの治療に携わせていただきました。この度、副院長職に就任させていただき、初期および後期研修医の指導、がん診療、感染症対策を中心に取り組んでいかせていただきます。

研修医の指導・育成では、地域ぐるみの取り組みが必要と感じており、プライマリーで患者さんの初期治療にあたられている地域の先生方や医療関係者の皆さんによるご指導が、10 年後 20 年後に主役になる研修医たちの宝物になると考えております。ぜひよろしくご指導ください。

また、がん診療においては、日本は世界一の長寿を達成し、高齢者の癌患者さんが多くなるのは必然と考えられます。このような現状を考えますと患者さんには、苦痛が少なく、患者さんの意向が反映される治療が不可欠と考えております。そのためには、地域の先生方や看護師さんとの連携が必要で、なるべく少ない入院期間、苦痛の少ない治療での入院加療後、在宅医療を中心とした地域を包括した取り組みが重要となると思います。またその一方で、主役である患者さんに自分の疾患やその治療法への理解を高めていただくために、当院独自の市民公開講座などの取り組みなども必要と考えております。

最後に感染症対策ですが、グローバル化した現代社会では、日本固有の感染症だけでなく、世界各国から日本では稀な病原菌の輸入が考えられます。そのため当院の感染管理室のメンバーは、いち早くこの地域での感染症の集団発生や稀な感染症、致死率の高い病原菌の検出の情報の収集に努めております。このメンバーや他の基幹病院の感染症室とともに、重大な感染症の拡大阻止に取り組みたいと考えております。

主役である患者さん、診療所、病院と医療のトライアングルを組むことで、さいたま市を中心とした医療圏の医療レベルの向上に努めてまいりたいと考えております。近隣の先生方、医療関係者の方々にはますますのご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



膠原病・リウマチ内科部長 就任のご挨拶

膠原病・リウマチ内科部長 堀越 正信



平成 30 年 4 月に膠原病・リウマチ内科部長を拝命いたしました堀越です。関節リウマチは 200 人に 1 人といわれるありふれた疾患でありながら、その診療は日進月歩であり専門化の一途を辿っております。当院では比較的新しい技術である関節エコーも用いて正確な関節炎の評価を行い、過不足ない診断・治療をこころがけています。発症初期数年間の疾患活動性をきっちりと抑えられるかどうかでその後の患者さんの人生をも大きく変えてしまう可能性があることを念頭に、日々診療にあたっております。

また全身性エリテマトーデスを始めとした膠原病ではその症状や臓器障害が極めて多彩であります。あらゆる診療科の揃う当院の強みを生かして各領域の専門医と連携し、患者さんにとって最良の選択ができるようにしております。「とにかくステロイドをたくさん使う」というイメージをもたれることがある疾患群ですが、このステロイドという古い薬の使い方が最近 10 年間で劇的に変化しました。免疫抑制薬などを適切に併用して極力最小限の投与量に留めることで、骨粗鬆症による骨折など辛い副作用で苦しむ方は非常に少なくなりました。

毎年のように出てくる新薬に注目が集まる領域でもありますが、上記のような基本的なことを心がけて患者さんの力になれるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第二眼科部長 就任のご挨拶

第二眼科部長 高本 光子



平成 30 年 4 月より、第二眼科部長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 28 年より当院に勤務しておりますが、病院移転などもあり非常にあわただしい中で 2 年がたちました。さらに今年度、このような責任ある立場となり身が引き締まる思いであります。

外来では、主にぶどう膜炎の診療を専門としています。ぶどう膜炎の原因は非常に様々で、眼科の枠を超えて多角的に検査を行っていくことが必要になります。身体症状と目の症状の関連に気づきにくいケースも散見され、きめ細かい診療が必要になります。たくさんの検査に時間と労力を費やしても最終的に

診断に至らないことも一定の割合で見られるのも事実ですが、他科の先生方とも連携して可能な限り正確な診断をつけるように心がけ、診断に基づいて治療方針を決めていけるようにしたいと日々考えています。

また、糖尿病網膜症をはじめとした全身疾患に伴って生じるような眼疾患や、全身合併症のある手術症例についても総合病院としての役割が果たせるよう積極的に診療にあたっていきたいと考えています。

地域の先生方との連携を深め、地域のニーズに答えていけるように、そして、初診から逆紹介まで患者さんが安心して治療を受けられるように、最大限努力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

健診部長 就任のご挨拶

健診部長 鵜飼 晴美



さいたま赤十字病院健診部長を拝命いたしました鵜飼晴美と申します。当院には平成19年より非常勤医として勤務しており、平成27年より常勤になりました。宜しくお願い申し上げます。

当院の健診センターはいろいろな科のご協力のもとに成り立っております。例えば、乳腺画像は乳腺外科チームが、心電図は循環器内科部長、胸部CTは呼吸器内科部長が担当しております。質の向上を目指しており、乳腺の画像は3名のトリプルチェック制で、意見の相違がある場合はカンファランスで検討しております。健診胃カメラは、健診カメラとしては珍しく、鎮静

剤を使い拡大鏡内視鏡を使用しています。ハイビジョン画質のため微細な癌が多く検出されています。

新たなオプションも加わりました。PET-CT（健診単独コースとオプション追加もあり）、3Dマンモグラフィ、乳腺エコーなどです。

人間ドックの食事も院内レストランのみから、プリランテ武蔵野の3店舗（タニタ食堂メニュー含む）に増え、選択肢が広がりました。

今後も総合病院の健診センターとして最先端の医療を提供していきたいと思っております。

微力ではありますが、近隣の先生方との連携を密にし、さいたま赤十字病院、地域の皆様のために貢献していきたいと思っております。常に前を向いて精進する姿勢で努力したいと思います。ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

救急部長 就任のご挨拶

救急部長 兼 集中治療副部長 田口 茂正



本年度から救急部長に就任いたしました田口でございます。当救急部は、幅広く、そして質の高い救急医療・集中治療を通じて、地域医療に貢献することを目的としています。全国でも有数の三次救急搬送への対応を軸に、病院前救急診療（ドクターカー）、外傷の止血を目的とした手術やIVR（カテーテル止血）、集中治療、機能予後改善を目指した亜急性期治療まで、取り組んでいます。本年度から集中治療部も設置され、集中治療専門医、麻酔科専門医を中心に院内外問わず全身管理が必要な方への対応をしています。

救急医の専門性は、あらゆる生理学的・解剖学的不安定性に対応でき、多職種からなるチームを調整し、治療全体の方向性を導くことにあります。一人ではできないことには限界があり、院内外にある人的・物的医療資源が最大限に活用されることでこれが達成されます。救急医療ニーズは大きく変化し、件数だけで語れる時代は終わりました。病院内からも地域からも信頼される救命救急センターであり続けるためには、結果を示し謙虚に取り組んでいく姿勢でありたいと思っております。救急医としての私を育ててくれた、さいたま赤十字病院と、地域に恩返しできるよう精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



リハビリテーション科

り は び り て - し ょ ん か



部長 荒尾 敏弘

●さいたま赤十字病院リハビリテーション科は

当院リハビリテーション科は現在、専任医師1名、理学療法士18名、作業療法士6名、言語聴覚士3名、医療事務1名、助手1名の体制で日々の診療を行っています。

診療内容としては、骨折や人工関節置換などの運動器疾患、脳梗塞や脳出血などの脳血管障害、心筋梗塞や心不全などの循環器疾患、肺炎や慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患、がん、等々の疾患により生じた運動機能障害、呼吸・循環機能障害、高次脳機能障害、嚥下障害といった機能障害や、日常生活動作能力の低下に対して、理学療法士 (PT)・作業療法士 (OT)・言語聴覚士 (ST) による訓練を、1日約 200 名の患者さんに対して実施しています。

※人手の問題で、基本的に当科でのリハビリテーションは当院入院患者さんを対象とさせて頂いています。

●高度急性期病院のリハビリテーション科として

当院の性格上、様々な疾患を抱えた数多くの患者さんがいらっしゃいます。治療の後にリハビリテーションがあるのではなく、早期よりリハビリテーション科の療法士が関わることにより、機能の改善は勿論、入院中に体を使わないことによる身体機能の低下 (いわゆる廃用症候群) や合併症をなるべく防ぎ、早期の退院や転院でのリハビリテーション継続に繋げるべく、質の高いリハビリテーションを提供していくことが我々の使命と考えています。

●地域中核病院の リハビリテーション科として

超高齢化社会を反映して、当院の入院患者さんもお高齢の方が多くなっています。それまで何とか維持できていた日常生活が疾病による入院を機に破綻してしまうことは珍しくありません。そのため、リハビリテーションは入院中のみではなく退院後の継続性も重要になります。当院は地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院であり、そのリハビリテーション科として求められることは地域の医療機関の方々との連携であると考えています。しかしながら、現状では当科としてそれが十分出来ているとは言い難い状況です。新病院移転後より開始した心臓リハビリテーションにおいても、当院でのプログラムを終了した後、いかに患者さんの生活の場に近いところでリハビリを継続できるかが課題になっています。

連携は一朝一夕にできるものではないと存じますが、今後少しずつでも皆様との関係作り、顔の見える関係を増やしていきたいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。





診療情報管理士
井上 真子



入院される患者さんが安心して入院生活を送り、
治療に専念できるようお手伝いをしています。

皆さんはクリティカルパス(以下パス)をご存じでしょうか？



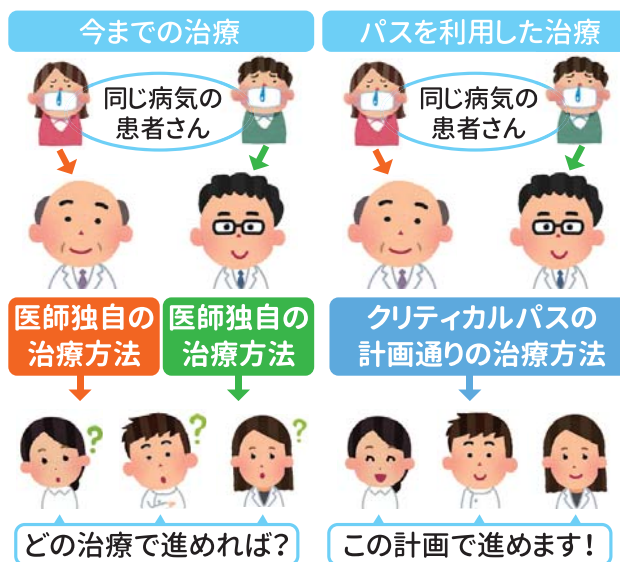
パスは【入院中に受ける検査・手術の予定】【手術後のリハビリ等の治療内容】【食事・シャワー浴等の流れ】などを、患者さんに十分にご理解いただき、安心して入院生活を送っていただけるよう、入院時の説明等でお渡しする入院スケジュール表のことです。

また、パスには医療スタッフ用のものもあり【入院中に患者さんが受ける治療】【看護ケア】【患者さんの日々の状態】などが書かれた治療計画書もあります。

医療スタッフはパスを使うことにより、従来医師によってばらつきがあった医療を標準化(データとして分類)でき、チームとしてスムーズに連携して患者さんの治療計画に関する情報共有、治療ケアを行うことができます。

パスを使用している患者さんが、パスの治療計画から外れてしまった場合には、早期にそれを発見・対応することで医療の安全性を高めます。また、調査し対策を取ることで、より質の高い医療を提供することにつながります。

しかし、すべての患者さんにパスが使用できるわけではありません。データ分類しにくい疾患の場合、患者さんの状態によっては使用できないこともあります。



私が診療情報管理士として行っている活動は、大きく分けて2つ【パスの作成支援】と【現在使用しているパスの見直し】です。

パスの作成支援

新たな疾患のパスを作成するために医療チーム(医師、看護師、コ・メディカル、事務)でパス作成会議を開き、入院期間や治療計画、ケアの内容を話し合います。少しでも安全で質の良い医療を提供するために何度も話し合いを重ね、時間をかけてパスが完成します。入院時に患者さんにお渡しする用のパスを作成する時は、つつい医療用語を多用してしまいがちですが、なるべく患者さんやご家族が理解しやすい言葉で表現するように心がけています。

パスの見直し

実際にパスを使用した患者さんの診療経過とパスの内容を比較し、パスの治療計画通りに退院できたか、治療計画から外れてしまった事例がないかを調査しています。そして、治療計画から外れてしまった理由を分析し、パスを見直すことで、より安全で質の高い医療を提供することができます。

これからも入院される患者さんが安心して入院生活を送り、治療に専念できるように、お手伝いがしたいと考えています。





地域密着 レポート

薬局紹介

さいたま赤十字病院近辺の調剤薬局をご紹介します



①セイムスさいたま新都心薬局

所在地 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-1
NTTドコモビル 2階

電話番号 **048-600-1555**

FAX番号 **048-600-1556**

営業時間 【月～土】 8:30～20:00

定休日 日曜日・祝日

④こぐま薬局 新都心店

所在地 埼玉県さいたま市中央区新都心 4-15
フジコー新都心ビル 1階

電話 **048-858-8818**

F A X **048-858-8866**

営業時間 【月～金】 9:00～18:00

定休日 土曜日・日曜日・祝日

②ウエルシアさいたま新都心けやきひろば店

所在地 埼玉県さいたま市中央区新都心 10
けやきひろば

電話 **048-600-0583**

F A X **048-600-0584**

営業時間 【月～金】 8:30～20:00
【土】 9:00～19:00

定休日 日曜日

⑤サエラ薬局 北与野店

所在地 さいたま市中央区上落合 1丁目 11-15
アスク新都心ビル 1F

電話 **048-711-5241**

F A X **048-711-5242**

営業時間 【月～金】 9:00～18:30
【土】 9:00～14:00

定休日 日曜日・祝日

③南山堂薬局 さいたま新都心店

所在地 埼玉県さいたま市中央区新都心 4-1
FSKビル 1階

電話 **048-762-3786**

F A X **048-762-3787**

営業時間 【月～金】 9:00～18:00
【土】 9:00～13:00

定休日 日曜日・祝日





ホスピタルモールのご案内

さいたま赤十字病院では、利便性の向上を目指し、2階玄関にホスピタルモールを設置しております。

さいたま赤十字病院の理念

赤十字の人道・博愛の精神に基づき、信頼される医療をおこないます。

さいたま赤十字病院の基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 地域との円滑な医療連携に努めます。
3. 医療の質の向上に努め、安全な医療を提供します。
4. 優れた医療人の育成に努めます。
5. 国内及び国外での医療救援活動に積極的に参加します。

患者さんの権利

1. 公平で適切な医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が保たれ、人権を尊重される権利
3. プライバシーが守られ、個人情報保護される権利
4. わかりやすい言葉で検査や治療などの説明を受ける権利
5. 自己の決定権が確認され、医療行為を選択する権利
6. 安全・安心な医療を受ける権利
7. 他施設の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利
8. 自己の診療記録等の開示を求める権利

患者さんに守っていただく事項

1. 健康に関する情報を医師や看護師等にお知らせください。
2. 医療行為については、納得したうえで指示に従ってお受けください。
3. 病院内ではルールを守り、他の人に迷惑にならないよう行動してください。
4. 診療費の支払い請求を受けた時は、速やかにお支払いください。



- ・お弁当
- ・スイーツ
- ・オリジナルコーヒー
- ・おにぎり・寿司
- ・パン・サンドウィッチ
- ・麺パスタ・惣菜
- ・ホット商品
- ・医材・衛材商品

セブンイレブン (コンビニ)

営業日 年中無休

営業時間 (全日) AM7:00 ~ PM11:00
※入院患者さんは安全性の都合により AM8:00 ~ PM8:00



- ・朝食(和食・洋食)
- ・日替わり定食
- ・そば
- ・カレー
- ・丼
- ・サラダ
- ・デザート

ビアンモール (レストラン)

営業日 年中無休

営業時間 (平日) AM8:00 ~ PM5:00
(土・日・祝日) AM11:00 ~ PM4:00



- ・カット
- ・パーマ
- ・カラー
- ・お顔剃り
- ・シャンプー・セット
- ・病院出張カット
- ・脱毛時のアドバイス
- ・ウィッグ試着・相談
- ・メイク・ネイルアドバイスなど



こもれび (ヘアサロン)

営業日 外来診療日 ※土・日は定休日

営業時間 (平日・祝日)
AM9:00 ~ PM6:00



- ・コーヒー
- ・ドーナツ
- ・サンドウィッチ
- ・パン

カフェコア (喫茶店)

営業日 年中無休

営業時間 (平日) AM 7:30 ~ PM6:00
(土・日・祝日) AM10:00 ~ PM6:00

発行：さいたま赤十字病院

〒330-8553
埼玉県さいたま市中央区
新都心1番地5

TEL 048-852-1111 (代表)

編集：広報委員会

<http://www.saitama-med.jrc.or.jp/>